

データを利用した収量向上への取り組み

農林水産研究所



収量コンバインでは場1枚毎の収量データを取得

コンバインで得られるほ場ごとの収量データを活用し収量向上試験を行いました。

地域の平均収量より少ないほ場
→肥料を増やして栽培（窒素1kg/10a増）

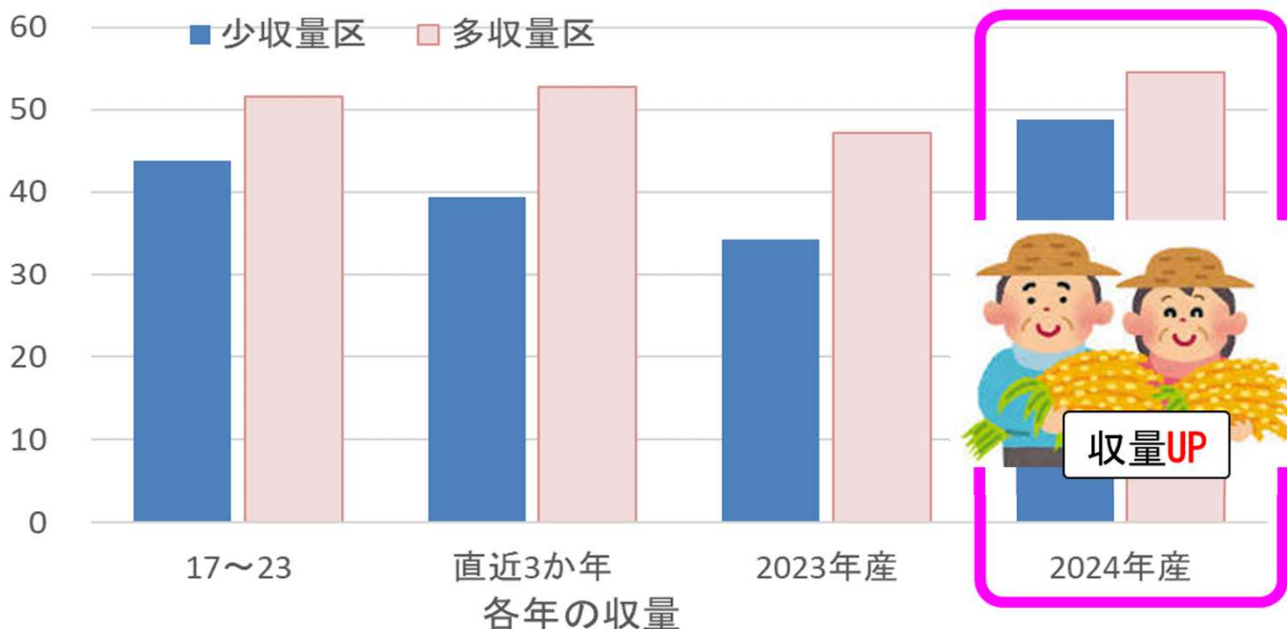


収量コンバインから取得したデータ

過去収量データ
から施肥設計



ほ場毎の設定施肥量で田植



少収量区の施肥量を増加させることによって、収量は増加し、多収量区との収量差が少なくなりました。

タンパク質含有量は施肥量を変える前とほぼ同量で倒伏もありませんでした。